



サルビア

～子どもたちの健やかな笑顔のために～ 伊勢崎市立赤堀東小学校 令和6年10月22日 第56号

より実践的に考える安全教育を目指して

1 伊勢崎市全小中学校の取り組みとして

学校安全には、大きく①交通安全②施設安全③不審者対応④自然災害対策、等があります。本校では、今年度はこれまで、不審者対応と火災時の対応について、避難訓練を行いました。

さて、令和5・6年度と、伊勢崎市は文部科学省指定の「学校安全総合支援事業」に取り組んでいます。この中で、特に課題とされているのが、「様々な視点から子供たち自身が考え実行できる能力を育む」ことです。“防災を学ぶ”ではなく“防災から学ぶ”といった方向性で考えていくことにより、広く自分たちのよりよい生活の在り方を考えることにもつなげていけるようにします。

そこで、今後予定されている地震に関する避難訓練について、以下のような取り組みを予定しておりますので、事前にお知らせいたします。

2 より実践的な避難訓練にするために

① 「予告なしの避難訓練」

地震などの自然災害は、正確な予知ができません。いつ、どのような状況で大きな地震に襲われるかはわかりません。そこで、より実践的な避難訓練にするために、今年度は、2学期に行う地震を想定した避難訓練は、期日や活動の場等を予告されないまま行います。

② 「防災教育クロスロード」

予告なしの避難訓練をしても、日頃から自分たちの安全を守るための知識や考えを基礎としてもっていなければ、不安が大きくなるだけでなく、やりっ放しの結果となってしまいます。学校としての課題もわかりにくいままになるでしょう。そこで、子どもたちには事前に「防災教育クロスロード」という、もしもの状況を考える学習に取り組みさせます。突然災害に見舞われた状況での自分の行動を判断したり、友達と意見交換を行ったりして、災害に対する意識を高めようとするものです。

③ 保護者の皆様へのお願い

自然災害は、学校の敷地外で起こることもあります。登下校の途中であったり、授業日以外で起こったりすることもあります。学校での避難訓練をよい機会ととらえ、登下校中や家族とはぐれてしまった時に落ち合う場所など、防災について日頃の話題に取り入れていただければと思います。

3 安全に関する話題～直近の報道から～

① 小学生の交通事故多発の現状を鑑み、改めて振り返る機会としてください。

【小学生の交通事故】(Yahoo!ニュースより)

- ・いつが多い? 最多が午後4～6時、次いで午後2～4時
- ・どんな状況? 小1の約7割が歩行中 小6になると約9割が自転車
- ・どんな場所で? 約50%が交差点
- ・自転車事故の状況は? 出合い頭の事故が最も多く、次いで単独事故
ハンドル・ブレーキ操作ミスが多い
- ・歩行中の事故の状況は? 横断歩道が最多で、次いで横断中・その他
飛び出しの事故が多い

② 「群馬県は自然災害が少ない」は本当でしょうか。

- ・台風10号の際に、前橋地方気象台から「線状降水帯が発生する可能性がある」との発表がありました。
- ・伊勢崎市の総合防災マップが改訂されたことにより、早川の一部、曲沢町、赤堀鹿島町、香林町1・2丁目、が新たに洪水浸水想定区域に指定されました。

日々変わっていく気候変動への対応や、身近にあるヒヤリハットに敏感であることなど、子どもたちの安全を、子どもたちと共に考えながら、教育活動を進めてまいります。